

心臓超音波検査

動く心臓をリアルタイムに観察し、異常がないかを見ます。

心臓超音波検査とは

- 超音波検査は音（超音波）の反射で画像を構築し、身体の中の状態を観察していきます。心臓は常に動いており、リアルタイムに観察し異常を発見するのが心臓超音波検査です。
- 超音波検査は胎児の検査でも使用される安全な検査です。
- 近年では機械の性能が向上し、さまざまな解析が行えるようになり、より鮮明・詳細に検査できるようになりました。

何が分かるの？

- 心臓の形態や弁膜症（逆流・狭窄）など、詳しく評価することができます。
- 虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）も、心筋の動きで評価することができます。
- 心臓は常に血液を身体中へ送るポンプの役割を担っています。心臓に負担がかかっていないか、心不全の状態も評価することができます。

例えば、
正常な心臓が「柔らかく空気を入れやすい風船」だとすると血液の流入がスムーズですが、
「硬く、空気を入れにくい風船」は、余裕がないため血液の流入が上手く行えません。そうすると、血液循環が上手くいかないため、心不全の状態になってしまいます。
これを、超音波検査で推測することも可能です。

- また、心臓のまわりや胸腔内に水が溜まっているかも見ることができます。

検査の流れ

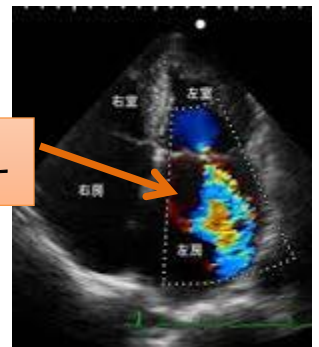
- ①ベッドに横になりリラックスします。
- ②ゼリーをつけて、プローベを当てて見ていきます。
- ③途中、体の向きを変えたり、呼吸を促す場合もあります。
- ④検査時間はおよそ30~40分と、人により差がありますのでご了承ください。
(所見内容により、追加の計算や観察などが必要になるため、時間を要する場合があります)

検査を受けるにあたっての留意点

- 服を開けての検査になりますので、ご理解とご協力をお願いします。
女性の方は、ご希望があれば女性スタッフで対応することが可能です。
- 心臓の検査では、食事制限は特に必要ありません。



心臓の4つの部屋



弁の逆流がおこると
このように表示されます